

# 眼科専門研修プログラム

地域に寄り添いながら眼科学を楽しみ、そして究める

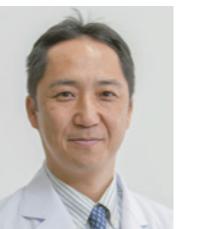
募集定員  
**4名**

研修期間  
**4年**



## 責任者からのメッセージ

眼科  
教授 池田 康博



宮崎大学医学部眼科学教室は、1976年に創設された比較的若い教室です。医局員は約20名でコンパクトですが、教授・准教授から研修

医までがいつも顔を合わせながら、アットホームな雰囲気の中で日々の診療・教育に励んでいます。広大な宮崎県の眼科医療を当教室が支えています。白内障や緑内障のようなメジャーな疾患だけでなく、小児眼科、瞼や涙道の疾患などといったあらゆる眼疾患に対し、高いレベルを保ちながら診断から治療までを実践しています。眼科学を楽しめる環境を整備することで、若い先生には少しでも早く一人前に育ってもらい、宮崎県の眼科医療を支えて欲しいと思っています。

## プログラムの特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。宮崎大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

- ① 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
- ② 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
- ③ 診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

## 連携施設名等

|                | 施設名   | 指導医          | 内眼手術（年間） | 外眼手術（年間） | レーザー手術（年間） |
|----------------|---|--------------|----------|----------|------------|
| 基幹施設           | 宮崎大学医学部附属病院   | 池田 康博 教授、他5名 | 1,192    | 411      | 56         |
| 連携施設<br>(指導医数) | 県立宮崎病院(1)、県立日南病院(0)、宮崎中央眼科病院(1)、宮田眼科病院(1)、九州大学病院(6)、JCHO九州病院(3)、麻生飯塚病院(1) |              |          |          |            |

## 専門医取得までのタイムスケジュール

4年間の研修期間中、1年目、あるいは2年目のどちらかを専門研修基幹施設である宮崎大学医学部附属病院で研修します。1、2年目は宮崎大学医学部附属病院、連携する県内の中核病院のいずれかで研修を行い、3年目以降は宮崎大学医学部附属病院、県内の中核病院、もしくは福岡県の中核病院で研修します。



## 取得可能な専門医資格および技能

眼科専門医、神経眼科相談医、眼科PDT認定医

## プログラム達成目標

- ① 医師としての基本姿勢・態度、眼科6領域(角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体・ぶどう膜、屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器)、他科との連携に関する専門知識。
- ② 検査、診断、処置、手術、手術管理、疾患の治療・管理に関する専門技能。
- ③ 学問的姿勢。
- ④ 医師としての倫理性、社会性を身につける。

## 主要症例と実績数

2021年度の宮崎大学医学部附属病院眼科における手術件数は、白内障手術558件、網膜硝子体手術347件、緑内障手術249件、斜視手術161件、レーザー手術56件、涙道手術51件、角膜移植3件を含む計1,659件でした。これは眼科のほぼすべての領域をカバーしています。さらに県下唯一の大学病院であるため、稀少症例も経験することができます。また県内外の6つの専門研修連携施設においても、common diseaseをはじめそれぞれの施設の特色により集まった多数の症例があり、基幹施設以外でも専攻医として必要な手術症例数を十分に経験できます。

## 週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

| 時間            | 月            | 火            | 水            | 木            | 金            |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 8:20 ~ 9:20   |              | 病棟回診         |              | 病棟回診         |              |
| 8:30 ~ 17:15  | 外来診療<br>手術業務 | 外来診療<br>手術業務 | 外来診療<br>手術業務 | 外来診療<br>手術業務 | 外来診療<br>手術業務 |
| 17:30 ~ 18:30 |              | 症例カンファレンス    | 抄読会          | 症例カンファレンス    |              |

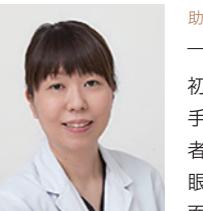
## 指導医からのメッセージ



助教 杉田 直大

眼科というと身体のほんの小さな部分だけを扱う狭い領域のように感じるかもしれません。が、実際はその中にも多くのサブスペシャリティがあり、それぞれに奥深い世界が広がっており飽きることはありません。

また宮崎大学眼科大きな医局ではないので、それぞれの希望に応じた小回りの利く専門研修ができると思います。実際、私はキャリアの割に多くの硝子体手術を経験させてもらっています。今後は後輩たちにもそれを伝えていきたいと思っています。是非私たちといっしょに、宮崎大学眼科で楽しく眼科道を究めましょう！



助教 日高 貴子

初期研修医の時に私が眼科を選んだ理由は、手術に携わることができて、幅広い年齢の患者様を診療することができました。眼科医になってからは、眼科診療の奥深さ、面白さを感じながら日々精進しております。

今指導する立場となり、眼科の魅力を感じることができます。研修医の皆さんの糧となるような指導ができたと思っております。それぞれ皆さん色々なバックグラウンドを持ちながら働いていらっしゃると思いますが、眼科はそれぞれの働き方に柔軟に対応できる科です。

眼科に興味がある先生方だけではなく、どの科を回ろうか悩んでいる先生もぜひ一度眼科で研修してみて下さい！

## 先輩からのメッセージ



菅井 洋

父が眼科医であることから眼科を長めにローテートしましたが、眼科は診察が特殊で、最初は所見が取れずただただ苦痛で全く面白みを感じることができませんでした。しかし豚眼を使った白内障手術の練習を通して、漫然と見学していた手術手技のひとつひとつに、解剖や生理学に基づいた意図や理由があることに気付きました。そうしている間に徐々に患者さんの診察もできるようになりました。眼科の魅力にどんどん引き込まれて入局を決めました。手術見学は今もとても楽しく、日々の業務の合間にも時間があれば先輩の手術を見に行くようにしています。また今では自分でも執刀するようになり、見学だけでは気付かなかった再発見があり、日々楽しく勉強できています。これからも眼科の仕事を一生のものとしてやっていこうと思っています。



河野 資之

学生実習でモニターを通して見た眼科手術にはあまり惹かれなかった私でしたが、ひとたび術場に入って顕微鏡を覗くと、そこには今までと全く違う世界が広がっていました。手先を使える科に行きたいと考えていました。医局の雰囲気の良さや先輩方の働きぶりに尊敬を覚えた事もあり、眼科に進むことを決意しました。私は初期研修で計3ヵ月ローテートしました。眼科診療に慣れるまで精一杯の状態での後期研修開始でしたが、先輩方が手厚く指導してくれるお蔭でここまで成長できたと感じています。まだまだ勉強の連続ですが、外来診療や手術、専門外来を通して更にレベルアップしていくと思います。眼科は診察から手技、所見のとり方に至るまで独特で、携わって分かる奥深さが魅力だと思います。少しでも興味があれば、まずは見学に来てみてください。



久井 貴博

皆さんには将来、外へ出たいですか？それとも手術がしたいですか？眼科は外来も手術も行うことができ、将来の自分の状況に合わせて働くことができます。視機能はQOLに直結し、治療の効果を患者さんに実感していただきやすいことから、やりがいも非常に感じられる科だと思います。細隙灯(診療で使う顕微鏡です)など眼科でしか使わない機械も多く、とつつきにいいイメージがあるかと思いますが1から指導しますのでご安心ください。

興味のある方はぜひ一度見学・研修に来てください！

## お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2806  
F A X : 0985-84-2065  
担当 : 杉田 直大  
e-mail : naohiro\_sugita@med.miyazaki-u.ac.jp

眼科HP  
<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/ophtha/>



# 耳鼻咽喉科専門研修プログラム

募集定員  
3名

研修期間  
4年

新生児系、外科系どちらもできます  
外来診療からお年寄りまで、手術まで、ステップアップが実感できます



## 責任者からのメッセージ

耳鼻咽喉科  
准教授 我那覇 章



医師とくに外科系医師が1人前になるために不可欠なのが「良き師」であり「良き先輩」です。自分や自分の家族、患者を託すことができる「良き指導者」のことを英語で「Mentor」と言いますので、我々のプログラムのニックネームをMENTOR (Miyazaki Ear Nose Throat Oriented Residency) プログラムと名付けました。本研修プログラム「MENTOR」のもとで育まれた専攻医が、専門医、さらには指導医(mentor)となって新たな専攻医を迎え、「宮崎ブランド」の耳鼻咽喉科専門医療技術を発展的に継承していく場になることを目指しています。

## プログラムの特徴

耳鼻咽喉・頭頸部外科専門医としての知識・技能・医療倫理を兼ね備えた医師を養成しつつ、宮崎県の地域医療充実と質の向上に貢献することを目的とする。宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室を中心とする連携研修施設群において、耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムであるとともに、学会発表や学術論文作成を通じて自然学者としてのリサーチマインドも重視したい。また、地域の医療情勢の理解、他大学との技術交流、人材交流の目的で、琉球大学、東京慈恵会医科大学、国際医療福祉大学との連携も選択可能である。

## 取得可能な専門医資格および技能

耳鼻咽喉科専門医：耳、鼻、口腔咽喉頭、頭頸部全ての領域において「標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成するためのプログラムである。

## 主要症例と実績数

専攻医は4年間の研修期間中に以下の疾患について、外来あるいは入院患者の管理を受け持ち医として実際に診療経験しなければならない。なお、手術や検査症例との重複は可能である。

| 症例       | 実績数   | 症例                                     | 実績数   |
|----------|-------|--|-------|
| 難聴・中耳炎   | 25例以上 | 喉頭腫瘍                                   | 10例以上 |
| めまい・平衡障害 | 20例以上 | 音声・言語障害                                | 10例以上 |
| 顔面神経麻痺   | 5例以上  | 呼吸障害                                   | 10例以上 |
| アレルギー性鼻炎 | 10例以上 | 頭頸部良性腫瘍                                | 10例以上 |
| 鼻・副鼻腔炎   | 10例以上 | 頭頸部悪性腫瘍                                | 20例以上 |
| 外傷・鼻出血   | 10例以上 | リハビリテーション（難聴、めまい・平衡障害、顔面神経麻痺、音声・言語、嚥下） | 10例以上 |
| 扁桃感染症    | 10例以上 | 嚥下障害                                   | 10例以上 |
| 嚥下障害     | 10例以上 | 緩和医療                                   | 5例以上  |
| 口腔・咽頭腫瘍  | 10例以上 |  |       |

## 週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

| 時間 | 月          | 火                     | 水                | 木                            | 金                          |
|----|------------|-----------------------|------------------|------------------------------|----------------------------|
| AM | 手術<br>特殊外来 | 症例検討会<br>術前回診         | 手術<br>聴覚支援<br>外来 | MENTOR 朝ゼミ<br>抄読会            | 手術<br>特殊外来                 |
|    |            | 初診外来                  |                  | 初診外来                         |                            |
| PM | 手術<br>特殊外来 | 手術<br>特殊外来<br>外勤：田野病院 | 手術<br>聴覚支援<br>外来 | 症例検討会<br>病棟総回診<br>放射線科合同カンファ | 手術<br>外勤：発達支援<br>センター・田野病院 |
|    |            |                       | 難聴支援<br>カンファレンス  | 医局会<br>MENTORタゼミ             |                            |

### 指導医からのメッセージ



医局長 後藤 隆史

みなさん、こんにちは。医局長の後藤です。当教室は、永年耳科学を中心に全国に発信して来た教室で、耳科手術に関しては全国トップレベルに位置し、年2回の手術講習会を開催を通じて全国の先生方と知り合う機会にも恵まれている、そんな教室だと自負しています。また地域医療の基幹拠点として、県内3施設・県外2施設に常勤医を、県内・県外の10施設に非常勤医を派遣し地域医療に貢献しています。また外科医としてのみならず内科系医師としても、フルタイムでもパートタイムでも働く事が出来る環境にあります。「宮崎ブランド」としてどこに出しても恥ずかしくない耳鼻咽喉・頭頸部外科医に育てますので、老若男女問わずお待ちしています。

### 先輩からのメッセージ



猿渡 英美

私は初期研修の時に耳鼻咽喉科に興味を持ち、入局を決めました。耳鼻咽喉科の魅力の一つは、耳、鼻、のど、頭頸部と幅広い分野を学ぶことができ、また新生児から高齢者まで様々な方と関わることができる点だと思いります。働き方も様々で、専門分野を決めることもできますし全ての分野を学ぶこともできます。また診療形態の選択肢も多く、育児をしながらでも希望通りの働き方で仕事を続けやすい環境だと思います。耳鼻咽喉科に興味のある方もない方も、まずはぜひ気軽に遊びにきてください。

### 久富木 冠



入局して、3年が経とうとしています。ポリクリニカルでの実習を通して、興味を持ったこの科の一員として、憧れだった先輩方と一緒に楽しく働かせてもらっています。耳鼻咽喉科医は、音楽を聞く、睡眠をとる、食事を摂る、といった楽しく生きていく上でとても重要な役割を果たしている器官の専門家です。1年目から、これらに対し、手術・外来診療を通して深く関わることができ、症状が改善したときには、患者さんの喜びを直に体感できることが当科の魅力だと感じています。もちろん自分自身が楽しく生きることも重要で、毎朝のサーフィンは診療前の至福のひとときとなっています。ぜひ、宮崎大学病院耳鼻咽喉科で、ともに楽しく働きましょう。

## ココに注目！

### ◆耳鼻咽喉科の特徴

五感、すなわち視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚のうち視覚を除いて耳鼻咽喉科の守備範囲です。耳鼻咽喉科は人間が人間らしく生きる上でもっとも基本かつ重要な機能を扱っています。扱う疾患、手技が多岐にわたるため、個々の興味、能力、体力などに応じて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中で、自分にふさわしい分野(サブスペシャリティ)を見つけることができます。

### ◆女性医師について

日本耳鼻咽喉科学会会員の約20%は女性医師です。さらに女性医師は年々増加傾向にあります。小児難聴をはじめ從来から女性医師が活躍してきた領域が多く、高い専門性を保ちながら医療の第一線で活動を継続している女性医師が多いのも耳鼻咽喉科の特徴です。

### お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2966

F A X : 0985-85-7029

担当：奥田 匠

e-mail : takumi\_okuda@med.miyazaki-u.ac.jp <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/jibika/>

耳鼻咽喉科HP



## 専門医取得までのタイムスケジュール

|       | 施設名                                    | 指導医           | 年間手術件数 |
|-------|--|---------------|--------|
| 基幹施設  | 宮崎大学医学部附属病院                            | 我那覇 章 准教授、他3名 | 735    |
| 連携施設Ⅰ | 県立宮崎病院、国立病院機構都城医療センター                  |               |        |
| 連携施設Ⅱ | 琉球大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、国際医療福祉大学成田病院 |               |        |

連携施設Ⅰ・・・地域医療を担う病院：指導医1名以上、スタッフ1名以上、年間手術件数150件以上

連携施設Ⅱ・・・他大学病院(様々な地域の中心的存在として機能している。基幹施設だけで習得することのできない、地域性豊かでかつ専門性の高い最先端の医療を経験できる。)

## プログラム達成目標

### 1年目(2023年度)：

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の基礎を固める。

### 2年目(2024年度)：

宮崎大学医学部附属病院において大学病院特有の専門性を有する疾患の経験を積む。

### 3年目(2025年度)：

県立宮崎病院、国立都城医療センターのいずれかにおいて6ヶ月～12ヶ月間の実践的研修。

宮崎県立宮崎病院、国立都城医療センターで手術件数補填、または宮崎大学医学部附属病院でのサブ領域重点研修(サブ領域展開コース)。

### 4年目(2026年度)：

宮崎大学医学部附属病院において専門研修の総点検を行い、不足事項があれば補填した上で専門医試験前対策期間を適宜設ける。また、基礎研究展開コースでは社会人大学院に入學して基礎研究を開始する。

内科  
小児科  
皮膚科  
精神科  
外科  
形成外科  
整形外科  
テリハジヨン科  
産婦人科  
眼科  
耳鼻咽喉科  
泌尿器科  
脳神経外科  
放射線科  
麻酔科  
病理  
臨床検査  
救急科  
総合診療

# 泌尿器科専門研修プログラム

宮崎大学泌尿器科「CAVIAR Project」  
～Career up for Valuable Life of Active Urologist～

募集定員  
**6名**

研修期間  
**4年**



## 責任者からのメッセージ

泌尿器科  
教授 賀本 敏行



当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

大学病院では“大学病院すべき領域”を明確にし、連携施設との役割分担、開業医の先生との緊密な医療ネットワークを活用して、宮崎県の泌尿器科医療はかなり高いレベルになっていると自負しています。泌尿器科領域にはその他にも数多くの疾患がありますが、専門研修においては宮崎県の中で広く身につけていただこうようなプログラムを作成しています。4年間で専門医を取得した後には、基礎研究に興味がある先生には大学院に進学していただきます。また希望があれば、国内の他の施設との人事交流も積極的に行っており、サブスペシャリティーとして特化した領域の病院や、“都会”の中核病院でのさらなる研鑽も可能です。医師として長く納得して仕事をするためには、診療の“実力”を身につけること、良き人間関係の構築、そして何より“家族”が大事です。そのためには医局の雰囲気が最も重要だと思っています。その点、当教室の医局員の皆さんには気持ちの良い先生ばかりで、大変良い雰囲気で仕事ができていると思っています。日本のトップレベルの泌尿器科になるために是非力を貸してください。

## プログラムの特徴

宮崎大学泌尿器科専門研修プログラムは宮崎大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得とともに、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、専門研修後にはより高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床修練コース、2つから選択することができます。

## 連携施設名等

|      | 施設名  | 指導医          | 年間手術件数 |
|------|--|--------------|--------|
| 基幹施設 | 宮崎大学医学部附属病院  | 賀本 敏行 教授、他7名 | 421    |
| 連携施設 | 県立延岡病院、県立日南病院、藤元総合病院、野崎東病院、千代田病院、おがわクリニック、串間市民病院、潤和会記念病院、古賀総合病院、小林市立病院、人吉医療センター、熊本大学病院、済生会熊本病院 |              |        |

## 専門医取得までのタイムスケジュール

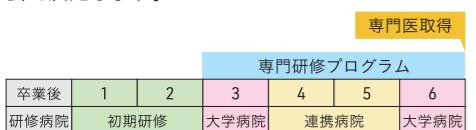
### ○ 大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学する。病棟や外来業務は從来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行う。本コースを選択した場合は卒後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。



### ○ 臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2~3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会で決定します。



## 取得可能な専門医資格および技能

- ① 泌尿器科専門医、指導医
- ② 癌治療認定医
- ③ 泌尿器腹腔鏡技術認定
- ④ 日本内視鏡外科技能認定(泌尿器科領域)
- ⑤ 日本小児泌尿器科学会認定医

## プログラム達成目標

専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、鍛錬された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)からなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

### ○ 4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)

- ① 泌尿器科専門知識
- ② 泌尿器科専門技能：診察・検査・診断・処置・手術
- ③ 継続的な科学的探求心の涵養
- ④ 倫理観と医療のプロフェッショナリズム

## 主要症例と実績数

- ① 副腎 : 副腎腫瘍  
(原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫)
- ② 腎 : 腎細胞癌、腎盂癌、腎結石、末期腎不全、水腎症
- ③ 尿管 : 尿管癌、尿管結石、尿管狭窄
- ④ 膀胱 : 膀胱癌、膀胱結石、神経因性膀胱、膀胱尿管逆流症、間質性膀胱炎
- ⑤ 前立腺、尿道 : 前立腺癌、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道下裂
- ⑥ 陰嚢、陰茎 : 精巢癌、陰茎癌、停留精巢、精索捻転、陰嚢水腫

| 術式      | 2021                       |
|---------|----------------------------|
| 腎摘除術    | Iaparoscopy 37<br>Open 1   |
| 腎部分切除術  | Iaparoscopy 0<br>RAPN ※ 30 |
| 副腎摘除術   | Open 0<br>Iaparoscopy 9    |
| 膀胱全摘除術  | Iaparoscopy 17<br>Open 0   |
| 前立腺全摘除術 | Iaparoscopy 0<br>RAPN ※ 55 |
| 腎移植     | Open 0                     |

※ロボット支援腹腔鏡手術

| 術式      | 2021 |
|---------|------|
| TURBT   | 86   |
| TURP    | 4    |
| HolEP   | 0    |
| 精巣固定術   | 17   |
| 陰嚢水腫根治術 | 2    |
| 尿道形成術   | 1    |
| 腎孟形成術   | 2    |
| VUR防止術  | 11   |
| 腎移植     | 2    |
| その他     | 110  |

## 週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

| 時間 | 月                       | 火                 | 水  | 木           | 金                 |
|----|-------------------------|-------------------|----|-------------|-------------------|
| 朝  | カンファレンス                 | 抄読会               |    |             | カンファレンス           |
| 午前 | 外来診察・入院患者処置             | 外来診察・入院患者処置       | 手術 | 外来診察・入院患者処置 | 手術<br>外来診察・入院患者処置 |
| 午後 | 外来診察・入院患者処置             | カンファレンス・回診        | 手術 | 外来診察・入院患者処置 | 手術                |
| 夕方 | 小児泌尿器科カンファレンス<br>(第2月曜) | 病理カンファレンス<br>(隔週) |    |             |                   |

### 指導医からのメッセージ



助教 村嶋 隆哉

泌尿器科は一般的には男性の性病や頻尿を診る科…のように思われていることもあります。実際は性別問わず腎・尿路系疾患を幅広く治療する科です。基本的には手術を行う外科系診療科ですが、抗がん剤治療や過活動膀胱に対する内服治療など、内科的治療も数多く行っており、診断～治療まで一貫して関わることができます。手術に関しては、悪性腫瘍に対する経尿道的手術・腹腔鏡下手術・開腹手術、尿路結石や前立腺肥大症に対する内視鏡的レーザー手術、小児先天性尿路疾患に対する形成・再建手術、腎移植術など、非常に幅広い手技を学べることが特徴です。2019年に手術支援ロボットであるda Vinci Xiを導入し、ロボット支援前立腺全摘除術や腎部分切除術を多数行っています。当科の特徴としては漢気あふれる賀本教授を中心に、非常に和気あいあいとしています。カンファレンスも明るい雰囲気で自由な議論が交わされます。国内留学にも積極的で、今までに多数の医局員が京都大学関連病院や札幌医科大学などに留学し貴重な経験を積んでいます。研修医の皆さん、すこしでも興味があればぜひ一度見学にきてください。お会いできるのを楽しみにしています。

### 先輩からのメッセージ



宮元 耀嗣

私が宮崎大学泌尿器科に入局しようと決めたのは初期研修2年目の夏でした。泌尿器科は開腹・腹腔鏡手術、尿路内視鏡手術、排尿機能、生殖、小児、移植、感染症とさまざまな分野があります。私にとって、手術などの外科的な治療だけでなく、排尿機能や抗がん剤などの内科的な治療まで幅広く行うところが最大の魅力でした。まだ入局して3ヶ月ですが、既に執刀医として手術に参加させていただけたりと、早期から様々な症例を経験することができます。また、宮崎大学の泌尿器科の雰囲気はとても良いというところも大きな魅力の一つであると思います。賀本教授をはじめ医局の先生方が、医局員だけでなくコメディカルを含め、人を大事にしようという雰囲気があり、毎日楽しく働いております。少しでも泌尿器科に興味のある方、まだ進路を決めていない方は是非、一度雰囲気を味わいに来られてはいかがでしょうか？

## ココに注目!

2019年より内視鏡手術支援ロボットの最新モデルである「da Vinci Xi」が宮崎県にも導入されました。現在では、週に1例はロボットを用いた前立腺全摘除術を行っています。泌尿器科は、若手からベテランまで外来診療にあたり、手術までこなします。日中は忙しいことも多々ありますが、OnとOffがしっかりとおり、ゴルフ・サーフィン・サッカー・テニスなど趣味に打ち込んでいる医員も大勢います。また、近年は女性泌尿器科医も非常に増えており、家庭と仕事の両立や女性患者への診療も含めて、やりがいのある分野となっています。現在、初期研修プログラムの改訂により、ローテーション項目として内科何ヶ月、外科何ヶ月と決められており、宮崎大学では初期研修で泌尿器科を選択する人もあまり多くありません。

泌尿器科は専門的な分野ですが、尿道留置カテーテルの管理や頻尿、尿閉など、一般病棟管理で対応することの頻度が高いトラブルに対応するためにも、一度初期研修でローテートすることは間違いないと思います。ぜひ、一緒に働きましょう！

### お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2968  
F A X : 0985-85-6958  
担当 : 高森 大樹  
e-mail : urology@med.miyanaki-u.ac.jp

http://www.med.miyanaki-u.ac.jp/home/urology/



# 専門研修プログラム

日本のひなた宮崎県で  
あたかの脳神経外科医を目指しませんか

募集定員  
**3名**

研修期間  
**4年**

## 連携施設名等

|      | 施設名                                | 指導医        | 年間手術件数 |
|------|------------------------------------|------------|--------|
| 基幹施設 | 宮崎大学医学部附属病院                        | 竹島秀雄教授、他7名 | 328    |
| 連携施設 | 県立日南病院、都城市郡医師会病院、潤和会記念病院、金丸脳神経外科病院 |            |        |
| 関連施設 | 熊本大学附属病院、大分大学附属病院、県立宮崎病院、和田病院、池田病院 |            |        |

## 取得可能な専門医資格および技能

日本脳神経外科学会専門医を取得後、サブスペシャリティ専門医として以下の資格が取得可能です。

- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本脳卒中の外科学会技術認定医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- 日本脊髄外科学会専門医
- 日本小児神経外科学会認定医
- 日本癌治療認定医
- 機能的定位脳手術技術認定医

## プログラム達成目標

当プログラム開始後4年間で脳腫瘍、脳血管障害、外傷、脊髄脊椎疾患、小児疾患、機能的疾患、感染などの疾患を経験し、最終的に日本脳神経外科学会専門医を取得することを目指します。手技的には開頭手術や脊髄脊椎手術、脳血管内手術などの助手業務をこなし、訓練状況によっては開頭血腫除去術などを執刀医として手術を完遂できる技量を身につけることを目標とします。同時に脳神経外科専門医として必要な外来業務、病棟業務をこなし他科医師への適切な助言提供が行えることも目標とします。



## 責任者からのメッセージ

脳神経外科  
科長 竹島秀雄



宮崎大学における脳神経外科専門医の取得を目指すプログラムです。専門医取得のための症例数や診療・手術経験は、このプログラムで十分に充足させることができますし、非常に高い合格率を誇っています。これを通じて、血管内治療学会専門医などのサブスペシャリティの専門医資格や研究・留学などで更に飛躍を目指す若手医師を募集しています。時に厳しいものの恵まれた自然と暖かい人間関係のもとで、自分の可能性を大きく羽ばたかせてみませんか。

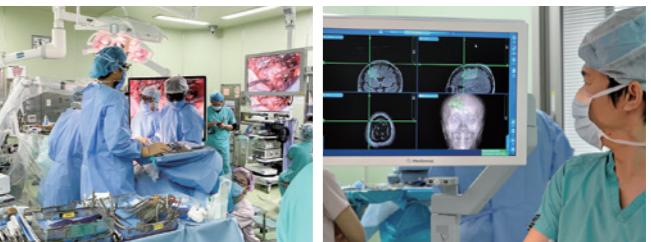
## プログラムの特徴

本プログラムは宮崎県唯一の脳神経外科専門医を目指すプログラムです。原則的に宮崎県内の連携施設および関連施設のみで完結するコンパクトな研修システムですが、必要に応じて、他大学(熊本大学、大分大学)を関連施設として補充するものです。加えて基幹施設(宮崎大学)では脳腫瘍の遺伝子診断を基にテラーメイドで治療方針を決定するなど、将来基礎・臨床研究面への橋渡しも考慮しています。手術設備についても手術用顕微鏡以外に内視鏡、外視鏡、ナビゲーションシステム、光線力学的治療装置など最先端機器を導入しその技術習得が可能です。また研修期間中も宮崎大学大学院医学獣医学研究科(博士課程)に社会人学生として在籍し、高度臨床医育成コースにおいて臨床研究に携わることが可能です。

## 主要症例と実績数

基幹施設では脳腫瘍、先天性奇形・水頭症、機能的疾患手術や脳血管内手術が大部分を占め、一方で連携・関連施設では脳血管障害、外傷、脊髄脊椎手術、脳血管内手術が多くを占めます。

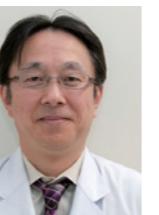
| 症例          | 実績数 |
|-------------|-----|
| 脳腫瘍手術       | 156 |
| 脳血管障害手術     | 227 |
| 外傷手術        | 344 |
| 先天性奇形・水頭症手術 | 111 |
| 脊髄脊椎手術      | 255 |
| 機能的疾患手術     | 24  |
| 脳血管内手術      | 230 |



## 週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

|    | 時間             | 月    | 火  | 水  | 木    | 金 |
|----|----------------|------|----|----|------|---|
| 午前 | 7:30~          | 抄読会  |    | 回診 |      |   |
|    | 8:00~          |      |    |    | カンファ |   |
|    | 8:30~          | カンファ |    |    |      |   |
|    | 9:30~          |      |    |    | 総回診  |   |
|    | 10:00~         |      |    | 病棟 |      |   |
|    | 午後 13:00~17:00 |      | 病棟 |    | 病棟   |   |

## 指導医からのメッセージ



医局長 大田 元

私は「神経を扱う外科系」に興味があり、最終的に脳神経外科を選択しました。デリケートな部位を扱う診療科であるため、入局前や入局直後は「果たしてやっていけるのか?」という不安が多かったです。しかし多くの臨床経験を積み、先輩・同僚・後輩・コメディカルスタッフの助けを受けながら、いつの間にか脳神経外科専門医として成長できました。不安があつても相談し解決できる事は多くあります。「自分に脳外科医が務まるか」と迷っている君、安心して脳神経外科分野に飛び込んで下さい。全力でサポートします。明るい未来が待っています。



病棟医長 松元 文孝

私は2006年に宮崎大学を卒業後、臨床実習の際に脳神経外科で働く先生方に接したことでの診療科へ進むことを決意しました。顕微鏡手術は実際にかっこよく見え、この世界で自分も生きたいと思いました。卒後研修後2008年に脳神経外科に入局し、自分の人生が始まったと感じたのをよく覚えています。脳の手術をするというと、すごく難しいことをしていて、自分には無理だと思うかもしれません。しかし脳神経外科の大部分の手技は理屈を理解し、最善の作戦を立てることが重要です。ここに少しの器用さを添えることで、手術は魔法のように完成していきます。私も多くの先輩から魔法のような手術をたくさん見せていただき、今はそれを自分が実践していく番になってきていると感じています。もし皆さんと接する機会があれば共にこの技術を伝承しながら次の時代につなげていけたらと考えます。

## 先輩からのメッセージ



助教 河野 智樹

脳外科には研修医時代に特に外傷に興味を持ち、脳神経外科を専攻することを決めました。宮崎大学脳神経外科は限られた人数で、宮崎県内の脳腫瘍・脳血管障害・脊椎脊髄・小児・機能分野をカバーする必要があり、仕事量は多いと思います。しかし、卒後8年目ですが執刀医の機会も多く、幅広く経験をさせてもらっています。和気あいあいとした医局と一緒に働きませんか。お待ちしております。



専攻医 有川 壮磨

私は学生の頃より外科に興味があり、研修医時代に脳神経外科医が救急外来で対応している姿に惹かれて脳神経外科の道を選びました。脳神経外科は脳血管障害や脳腫瘍にしろ、画像検査等を駆使して緻密な戦略を立てて手術を行うところが魅力の一つです。また当院では従来の顕微鏡手術、脳血管内治療、内視鏡治療に加えて、令和4年度から外視鏡治療も取り入れており、最先端の技術を経験できる環境があります。人数の多い医局ではないですが、先輩方がしっかりご指導して下さる屋根側式の教育方針は整っていると思います。確かに忙しいですが、休日祝日は当直医が対応するため毎日呼び出されるということではなく、夏休みが2週間、冬休みが1週間あるなどオノオフはしっかりしています。是非一度見学だけでもお越しください。



## ココに注目!

宮崎県下の脳神経外科専門医数は少なく忙しいのは事実ですが、少ないからこそ短期間での「個人症例経験数」は多くなることはメリットです。また夏季休暇(2週間)と冬季休暇(1週間)はきちんと確保しますし、希望者には国内・海外留学も可能です。

博士号や各種専門医・認定医の資格獲得も手厚く援助致します。また外部講師を招いての講演会(懇親会)を頻繁に行い人脈作成も可能ですし、全国学会や国際学会への積極的な参加もサポート致します。

## お問い合わせ先

T E L : 0985-85-3128  
F A X : 0985-84-4571  
担当: 大田 元  
e-mail : miyazakineuro@gmail.com

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/neurosurgery/  
脳神経外科HP



内科 小儿科 皮膚科 精神科 外科 形成外科 整形外科 テリハジション科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 脳神経外科 放射線科 麻酔科 病理 臨床検査 救急科 総合診療

# 専門研修プログラム

目指せ！ “Doctor’s doctor”  
必要とされる優れた放射線科医へ！

募集定員  
**5名**

研修期間  
**3年**



## 責任者からのメッセージ



放射線科  
教授 東 美菜子

放射線医学は、放射線診断(画像診断、核医学、IVR : Interventional Radiology)と放射線治療からなります。近年、高精度で安全な検査・治療を可能にする技術の開発が著しく、人工知能(AI)の研究もさかんで、高度な技術の臨床応用が進んでいます。放射線科では、様々な技術を駆使して、各診療科のニーズに応じ、あらゆる年齢・臓器を対象とした適切な放射線診療を提供することに日々励んでおります。我々宮崎大学放射線科は、宮崎の放射線診療の充実を目的とした人材育成に力を入れ、チーム医療の一員としての心構えや各診療科医師とのコミュニケーションスキル、放射線診療の知識と技術を習得できるよう充実した研修プログラムを作成し、熱心に教育を行っています。さらに、最先端の画像技術やAIを用いた研究を行っており、リサーチマインドの育成にも取り組んでおります。みなさんと一緒に仕事をできる日を医局員一同大変楽しみにしております。

## プログラムの特徴

本プログラムは、放射線診断医・放射線治療医となるために必要な研修を、基幹病院である宮崎大学医学部附属病院と連携施設で行います。

- 基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で、放射線診断(画像診断・核医学・IVR)・放射線治療のトレーニングを幅広く受けます。
- 連携施設では、救急疾患や日常よく遭遇する疾患の画像診断を多く経験し、総合的な診療能力を培います。
- 症例報告を含む学会発表の経験を積み、海外での学会発表や論文作成を目指します。
- 希望者は、先進画像を用いた研究や人工知能(AI)研究など、画像診断・放射線治療に関する研究を経験できます。



## 連携施設名等

| 施設名  | 指導医                                      | 専門分野・特徴               |
|------|--|-----------------------|
| 基幹施設 | 宮崎大学医学部附属病院                              | 11名<br>画像診断・IVR・放射線治療 |
| 連携施設 | 県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、藤元総合病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院 |                       |
| 関連施設 | 都城健康サービスセンター                             |                       |

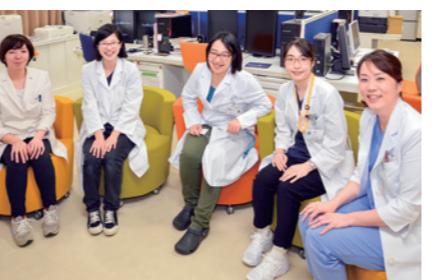


## 取得可能な専門医資格および技能

### ○ 研修コース 本人の希望で決定します

- A : 大学病院での研修を中心としたコース  
B : 大学病院で基礎的な研修をしたのち、連携施設中心に研修するコース  
C : 大学病院・連携施設での研修と博士号取得を同時に目指すコース

|   | 1年目      | 2年目      | 3年目        |
|---|----------|----------|------------|
| A | 大学病院     | 大学病院     | 連携施設       |
| B | 大学病院     | 連携施設     | 連携施設       |
| C | (臨床・大学院) | (臨床・大学院) | (連携施設・大学院) |



## プログラム達成目標

- 画像診断・IVR・放射線治療に関する知識の修得
- 安全で質の高い医療を提供する専門技能の修得
- 医療人としての倫理観とチーム医療の一員としての姿勢を持つ専門医の育成
- リサーチマインドの育成

| 経験すべき検査・読影数 | 経験すべき治療数 |       |     |
|-------------|----------|-------|-----|
| X線単純撮影      | 400例     | IVR   | 30例 |
| 消化管X線検査     | 60例      | 放射線治療 | 30例 |
| 超音波検査       | 120例     |       |     |
| CT          | 600例     |       |     |
| MRI         | 300例     |       |     |
| 核医学検査       | 50例      |       |     |

## 週間スケジュール

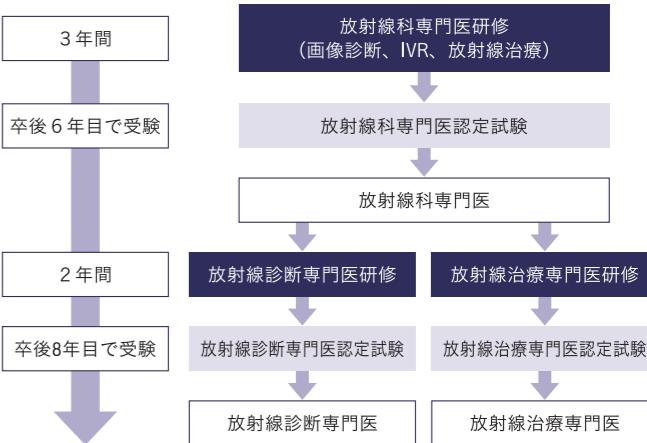
各部門の研修をそれぞれ3~6か月行います。

- ①脳神経・骨軟部部門 ②胸部部門 ③腹部部門(IVR) ④核医学部門  
⑤放射線治療部門

### 腹部部門の例

|    | 月            | 火            | 水           | 木                    | 金            |
|----|--------------|--------------|-------------|----------------------|--------------|
| 午前 | CT当番<br>病棟業務 | CT当番<br>病棟業務 | IVR<br>病棟業務 | IVR<br>病棟業務          | CT当番<br>病棟業務 |
| 午後 | MRI当番        | MRI当番        | IVR         | 医局会・勉強会<br>救急カンファレンス | MRI当番        |
| 夕方 | 症例レビュー       | 症例レビュー       | 症例レビュー      | 症例レビュー<br>救急カンファレンス  | 症例レビュー       |

## 専門医取得までのタイムスケジュール



- CT・MRI当番では、CT・MRI室で読影をしながら、撮影方法の決定・検査前チェック(腎機能・アレルギー・金属など)・造影剤の選択・副作用対応など、安全で適切な検査の実施を担当します。
- 腹部部門にはIVRが含まれ、症例を多く経験し、緊急IVRにも対応します。
- 核医学部門では、放射性同位元素を用いた画像診断や内用療法を担当します。
- 放射線治療領域部門では、治療計画の設計や、治療中の患者の診察・ケアを行います。
- 毎日、グループごとに、その日の症例の診断・治療に関する振り返りを行い、診断に困った症例や皆で共有すべき症例、若い先生にとって教育的な症例などを、グループのチーフがレビューします。
- 指導医と一緒に入院患者を受け持ち、毎週木曜日の病棟カンファレンスで担当患者に関するプレゼンテーションを行います。
- 毎週木曜日の勉強会では、論文紹介や症例提示を担当します。

### 指導医からのメッセージ



川野 真嗣

(宮崎大卒、平成28年入局)

放射線科の使命は、主治医のニーズに応える診断・治療を行うことです。当科では、将来の宮崎の放射線診療を支える専門医育成に情熱をもって取り組んでおり、放射線科領域のジェネラリストやスペシャリストになれよう、若い先生方の興味や希望に応じた指導を日々行っております。若手医師や女性医師も多く、周囲と協力しながら自分に合った働き方ができる医局です。ぜひ一緒に頑張りましょう。

### 先輩からのメッセージ



原 卓也

(宮崎大卒、令和4年入局)

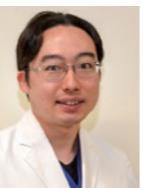
救急・集中治療から放射線科に転科し、7年ぶりに宮崎に戻ってきました。画像診断/IVRを中心に、主治医と一緒にになって宮崎の患者さんにより良い医療を提供できるよう日々頑張っています。放射線科の仕事は、急性期から慢性期、緩和まで幅広く、世の中のニーズもあり、なりたい自分、やりたい事を叶えるのに非常に良い職場だと思っています。一緒に宮崎の放射線科を盛り上げていきましょう。



今田 真希

(兵庫医大卒、令和2年入局)

放射線科は自分のベースで働きやすい科です。また医局の雰囲気もとても良く、なんでも相談・質問のしやすい環境です。そして、放射線科と一緒に核医学、IVR、放射線治療、画像診断とジャンルは多岐に渡りとても面白い科です。回ってみないとよくわからないところもあると思うので是非一度体験してみてください。お待ちしております。



松村 研吾

(宮崎大卒、令和2年入局)

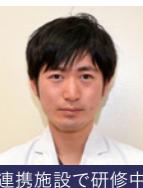
健診から専門的診断・治療まで全身に関わる放射線科の仕事はまさに多種多様です。私は関連施設で超音波や内視鏡などの検査にも携わりながら、様々な分野を学べてることに幸せを感じています。先輩や指導医の先生、さらには技師や看護師の方々とも柔らかい雰囲気で、とても過ごしやすい環境です。皆さんと一緒に楽しみましょう！



中村 咲和

(宮崎大卒、令和3年入局)

大学では指導医の先生方から丁寧に指導いただき、若手の同僚たちと和気あいあいと仕事ができる環境で、日々楽しく過ごしています。地味な印象を持たれることも多い分野ですが、意外と手技もあったり患者さんと接したりもしています。ぜひ気軽に見学にいらしてください。



長友 達寛

(宮崎大卒、令和3年入局)

入局1年目は大学病院で研修を行い、各分野のエキスパートである指導医から教育を受ける機会が豊富で、大変勉強になりました。今年度は連携施設である県立宮崎病院で、多くの症例を経験でき充実した毎日を過ごしています。指導医は頗もしく、また若い先生も多いため、相談しやすい環境です。興味がある方、ぜひ気軽にローテしてみてください。

### お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2807

F A X : 0985-85-7172

担当 : 東 美菜子

e-mail : minako\_azuma@med.miyazaki-u.ac.jp

放射線科HP

[http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/  
home/radiology/](http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/radiology/)



# 麻酔科専門研修プログラム

募集定員  
**10名**

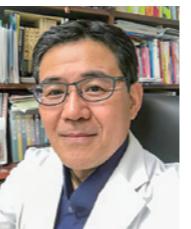
研修期間  
**4年**

家庭も仕事も大事にしたいから、  
麻酔科いいんじゃないじやない・・



## 責任者からのメッセージ

麻酔科  
科長 恒吉 勇男



当医局は、麻酔科としてプロフェッショナルになることはもちろんですが、そのために家庭生活がおろそかになるような不合理は認めません。家庭あってのお仕事です。仕事の満足度、収入、家庭に奉仕する時間、それらをバランスよく得られるように最大限配慮しています。

## プログラムの特徴

九州各県の代表的な研修施設と連携し、幅広い研修を積むことができます。もちろん、宮崎大学でも豊富な症例がありますので、立派な麻酔科医に成長することは確約します。4年目に専門医を受験します。集中治療やペインクリニックなども研修できます。

## 連携施設名等

|       | 施設名   | 指導医           | 専門分野・特徴          |
|-------|---|---------------|------------------|
| 基幹施設  | 宮崎大学医学部附属病院   | 恒吉 勇男 教授、他17名 | 麻酔、集中治療、ペインクリニック |
| 連携施設A | 県立宮崎病院、県立日南病院、宮崎市郡医師会病院、潤和会記念病院、地域医療機能推進機構 宮崎江南病院、国立病院機構 都城医療センター、神戸大学附属病院、労働者健康安全機構神戸労災病院、産業医科大学病院、九州労災病院、北九州総合病院、JCHO九州病院、九州大学病院、九州医療センター、市立こども病院、福岡総合病院、福岡大学病院、福岡赤十字病院、福岡大学筑紫病院、福岡東医療センター、久留米大学病院、久留米大学医療センター、大牟田市立病院、聖マリア病院、北九州市医療センター、筑後市立病院、大分大学医学部附属病院、琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター |               |                  |
| 連携施設B | 唐津赤十字病院、白十字病院、九州がんセンター病院  |               |                  |

専門連携施設A：研修プログラムの中核的な施設として十分な臨床実績と指導体制を有する施設

専門連携施設B：必要に応じて部分的な補完が出来る施設

## 取得可能な専門医資格および技能

- 麻酔科専門医
- 集中治療専門医
- ペインクリニック専門医
- 緩和ケア専門医
- 区域麻酔専門医
- 老年麻酔専門医
- 心臓血管麻酔専門医
- 小児麻酔専門医



## プログラム達成目標

昨今、麻酔科は専門性を高め、高度医療には欠かせない診療科となっています。麻酔科ニーズは、宮崎ではとても高いものがありますので、将来にわたって不安なく就労することも出来ます。さらに、ペインクリニック、集中治療、緩和ケアなどのサブスペシャリティーを修得すると、さらに魅力的な麻酔科医に成長することが出来ます。

## 主要症例と実績数

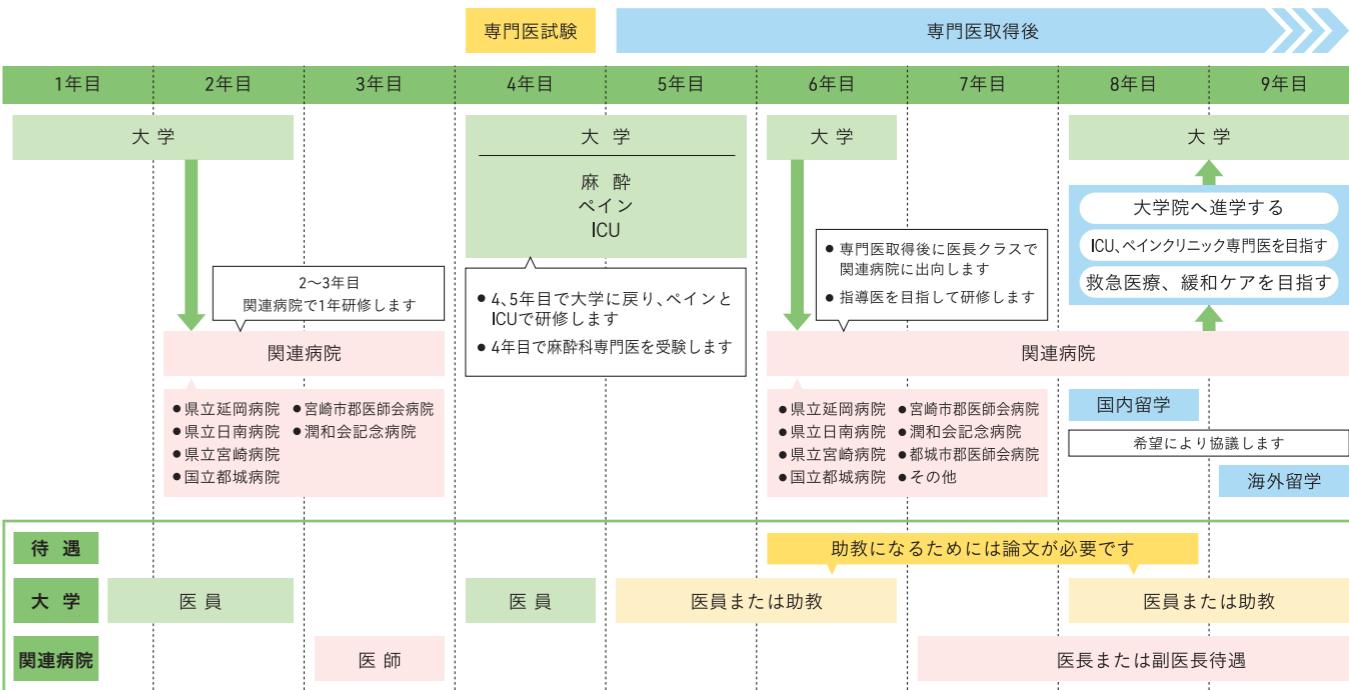
| 症例      | 実績数    |
|---------|--------|
| 総手術件数   | 6,055例 |
| 麻酔科管理症例 | 4,395例 |
| 集中治療室   | 867人   |

## 専門医取得までのタイムスケジュール

はじめの2年間は大学にて麻酔研修を行います。基本的な麻酔症例から、2年目には食道がんや心臓手術などの高度な手術の麻酔管理を行い、麻酔全般を満遍なくこなすことで、麻酔科医として一通り完成します。その後1~2年は関連病院に出向し、緊急手術をはじめとして第一線で様々な症例を経験することで、独り立ちできる自信を身に着けます。

4~5年目は、大学にてペインクリニックや集中治療を研修する傍ら、麻酔科専門医試験を受験します。その後は、麻酔の指導医を目指して麻酔を極めるなり、集中治療やペインクリニックの専門医を目指します。また大学院に入学し、学位取得を目指して研究に勤むこともできます。その先には、夢の海外留学も待っています。

## ○ 宮崎大学麻酔科 後期研修医研修プログラム



## 週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

| 時間 | 月 | 火 | 水 | 木  | 金   | 土 | 日  |
|----|---|---|---|----|-----|---|----|
| AM |   |   |   |    | 手術室 |   | 休み |
| PM |   |   |   |    | 手術室 |   | 休み |
| 当直 |   |   |   | 当直 |     |   | 当直 |

### 指導医からのメッセージ

麻酔科医としてどこでも通用する高い技術レベルを指導します。医局も明るく明るく、いい人ばかりです。いわゆるブラックな人はいませんので、安心して仕事に打ち込むことができます。

麻酔科医としての成長に終わりはありません。麻酔科は、クオリティーオブライフを保ちつつ自己研鑽に努めたい方には是非ともお勧めできる診療科です。心より、お待ちしております。

### 先輩からのメッセージ

入局を考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひ病院見学に来てください。

見学に来られた際には、もっといろいろお話ができるかと思いますので、ぜひ見学だけでも来てください。

### お問い合わせ先

T E L : 0985-85-9357  
担当 : 石山 健次郎  
e-mail : kenjiro\_ishiyama@med.miyazaki-u.ac.jp

麻酔科HP

[http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/  
home/masui/](http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/masui/)



# 病理専門研修プログラム

信頼され、求められる病理医を一緒に目指そう！

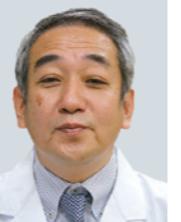
募集定員  
**2名**

研修期間  
**3年**



## 責任者からのメッセージ

病理診断科科長  
**佐藤 勇一郎**



宮崎大学附属病院病理診断科では、全科・全領域にわたり、病理診断をしています。指導医とともに、一緒にマクロ・ミクロの病理標本をみながら、基礎的な標本の見方から希少症例や難しい症例の診断まで経験することができます。病理解剖も執刀医として行い、全身臓器の病理所見、さらに患者様の全体像をとらえる重要なトレーニングがつめます。宮崎県内の連携施設、病理医との関係が強く、連携施設での研修も可能です。学会活動や研究も積極的に行っており、日本病理学会や九州沖縄支部スライドカンファレンスにも参加、発表、論文発表も行っています。宮崎県内の病理医も少しずつ増えています。宮崎大学で、一緒に病理医としてのトレーニングをつんでみませんか。

## プログラムの特徴

- 全領域にわたる豊富な症例を指導医とともに経験できる。
- 各診療科とのカンファレンスがおこなえる。
- 執刀医として病理解剖を行い、全身臓器に精通できる。
- 宮崎県内全ての病理医から指導が可能で、連携施設での研修も可能。
- 病理学会、九州・沖縄支部スライドカンファレンスにも積極的に参加、発表、論文作成も行える。

## 取得可能な専門医資格および技能

**病理専門医**：病理解剖、生検、術中、手術材料の病理診断、細胞診が早く正確な診断が行える。

**解剖資格医**：解剖を安全にかつ正確に行える技能を身につける。

**細胞診専門医**：細胞診を正確に行い、細胞診技師を指導できる。

**分子病理専門医(新規)**：分子病理に精通、病理検体の管理・提供、遺伝子解析が行える。

## プログラム達成目標

病理専門医は病理学の総論的知識と各種疾患に対する病理学的理解のもと、医療における病理診断(剖検、手術標本、生検、細胞診)を的確に行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保するとともに患者を正しい治療へと導けることを目標とする。生検、術中病理診断、手術材料の診断においては、診断が比較的容易で症例数の多いものからはじめ、希少症例、難解症例では鑑別診断をあげられるようする。剖検では、執刀からCPC、および報告書作製まで行い、全身臓器に精通し、症例をまとめる能力を身に着ける。

## 日課タイムスケジュール

| 時間 | 病理診断当番                    | 解剖当番           |
|----|---------------------------|----------------|
| AM | 生検・手術検体診断                 | 病理解剖           |
| PM | 指導医による診断内容チェック<br>手術材料 切出 | 追加検査提出、症例まとめ記載 |

## 週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

| 月                  | 火                   | 水                 | 木                  | 金              |
|--------------------|---------------------|-------------------|--------------------|----------------|
| 産婦人科合同<br>カンファレンス  | 外科<br>カンファレンス       | 産婦人科術前<br>カンファレンス | 神経放射線病理<br>カンファレンス | 解剖症例肉眼<br>チェック |
| 頭頸部<br>カンファレンス(隔週) | 泌尿器科<br>カンファレンス(隔週) | 骨髄生検<br>カンファレンス   | 外科病理抄読会            |                |
| 呼吸器<br>カンファレンス(隔週) | 腎生検<br>カンファレンス      | C P C             | 研究検討会              |                |

### 指導医からのメッセージ



助教 **田中 弘之**



盛口 清香

病理医の魅力は、組織標本で最終診断を行うことです。日常診療でよく見かける疾患から稀な疾患まで幅広く対応する科になります。診断の過程も興味深く、組織所見を積み上げていくことで診断に到達するという醍醐味を感じられます。一緒に病理診断を研鑽していく方を募集しています。

### 先輩からのメッセージ



都築 謙



病理診断科で専門研修医2年目の都築です。学生時代はあまり病理に興味が無く、漠然とムズカシイものという印象でした。研修医の時に病理をローテーションした際に、診断病理を経験することで、病理の魅力に引き込まれました。ただ組織所見を見つけるだけではなく、なぜそのような組織像になったのか、考えることは非常に面白いです。また上級医とのディカッショングで新たな解釈を学ぶことができ、成長が実感できます。嗜めば嗜むほど味が出てきます。他にも病理医の魅力があり、ベッドフリーなので時間の融通が効きます。仕事とプライベートを両立したく、顕微鏡で見ることにアレルギーがない方は向いていると思います。病理医も選択肢として如何でしょうか？

### お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2809  
F A X : 0985-85-2809  
担当 : 佐藤 勇一郎  
e-mail : yuichiro\_sato@med.miyazaki-u.ac.jp

病理HP  
<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathology/>



|         |         |
|---------|---------|
| 内科      | 内科学     |
| 小児科     | 小児科     |
| 皮膚科     | 皮膚科     |
| 精神科     | 精神科     |
| 外科      | 外科学     |
| 形成外科    | 形成外科    |
| 整形外科    | 整形外科    |
| テリハジヨン科 | テリハジヨン科 |
| 産婦人科    | 産婦人科    |
| 眼科      | 眼科      |
| 耳鼻咽喉科   | 耳鼻咽喉科   |
| 泌尿器科    | 泌尿器科    |
| 脳神経外科   | 脳神経外科   |
| 放射線科    | 放射線科    |
| 麻酔科     | 麻酔科     |
| 病理      | 病理      |
| 臨床検査    | 臨床検査    |
| 救急科     | 救急科     |
| 総合診療    | 総合診療    |

# 臨床検査専門研修プログラム

臨床検査専門医も基本19領域の一つです

募集定員  
**1名**

研修期間  
**3年**

## 責任者からのメッセージ



臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

検査部

部長 梅北 邦彦

## プログラムの特徴

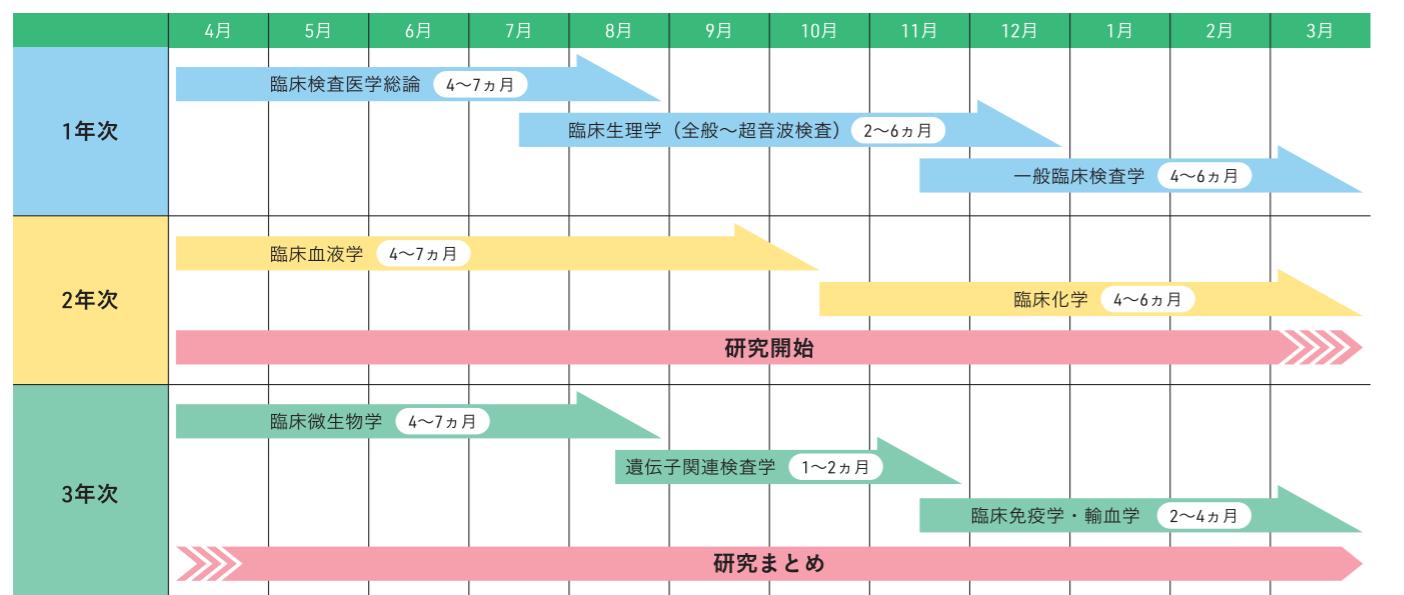
初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すこと(セカンドキャリア)も可能です。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

## 取得可能な専門医資格および技能

臨床検査専門医の資格を取得できます。臨床検査専門医のSubspecialty領域は現時点ではまだ決まっていません。想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医、消化器内視鏡専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。

## 専門医取得までのタイムスケジュール

まず日本臨床検査医学会に入会していただき、プログラム制ではストレート研修、カリキュラム制では、その方の希望に応じた研修スケジュールを相談して決めます。



## プログラム達成目標

以下の項目達成をプログラム制では3年間の目標とします。

- ① 経験すべき臨床検査として、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学があります。
- ② 報告書の作成とコンサルテーションへの対応として、臨床検査の報告書作成、施設内のチーム医療活動への参加、コンサルテーション対応などがあります。
- ③ 検査データカンファレンス(RCPC : reversed clinico-pathological conference)に参加します。
- ④ 宮崎県で行われる地域の検査事業に参加します。また臨床検査専門医資格を受験するためには臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文、または学会報告が3編以上あること(ただし、そのうち筆頭者としての原著論文が少なくとも1編以上あること)が必要です。
- ⑤ 臨床微生物学：一般細菌培養(グラム染色所見を含む)により起因菌同定と薬剤感受性試験が行われた症例(10例以上)。抗酸菌培養、抗酸菌塗抹検査が行われた症例(3例以上)。
- ⑥ 臨床免疫学・輸血学：内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。血液型判定(変異型も含む)、クロスマッチ、不規則抗体検査が行われた症例(3例以上)。
- ⑦ 遺伝子関連検査学：血液造血器腫瘍、悪性腫瘍、薬物代謝に関する遺伝子、または遺伝性疾患の遺伝子診断が行われた症例(2例以上)。
- ⑧ 臨床生理学：超音波検査(5例以上)、心電図検査(5例以上)、呼吸機能検査(2例以上)、神経・筋関連検査(2例以上)。超音波検査は実施したものとする。

## 主要症例と実績数

内科  
小児科  
皮膚科  
精神科  
外科  
形成外科  
整形外科  
リハビリション科  
産婦人科  
眼科  
耳鼻咽喉科  
泌尿器科  
脳神経外科  
放射線科  
麻酔科  
病理  
臨床検査  
救急科  
総合診療

## 週間スケジュール

下の例は臨床生理学(特に超音波検査)の研修を優先させる場合について記載します。

### ○ 超音波検査集中研修時

| 時 間 | 月             | 火            | 水             | 木         | 金             |
|-----|---------------|--------------|---------------|-----------|---------------|
| 午前  | 指導医による指導・自己学習 | 超音波検査研修      | 指導医による指導・自己学習 | 超音波検査研修   | 指導医による指導・自己学習 |
| 午後  |               |              | 超音波検査研修       |           |               |
| 夕方  | 臨床科カンファレンス    | 臨床検査科カンファレンス | 臨床検査科勉強会      | 研究カンファレンス | 自己学習またはRCPC   |

### ○ 超音波検査研修修了後

| 時 間 | 月             | 火              | 水             | 木          | 金             |
|-----|---------------|----------------|---------------|------------|---------------|
| 午前  | 指導医による指導・自己学習 | 超音波検査研修・業務     | 指導医による指導・自己学習 | 超音波検査研修・業務 | 指導医による指導・自己学習 |
| 午後  |               | 検査室研修・検体検査診断業務 |               |            |               |
| 夕方  | 臨床科カンファレンス    | 臨床検査科カンファレンス   | 臨床検査科勉強会      | 研究カンファレンス  | 自己学習またはRCPC   |

#### 指導医による指導・自己学習

検査室以外の場所(医局、研修室など)での研修です。指導医や上級検査技師によるミニ講義、過去の検査報告書・教材の自己学習、研修レポートの作成などを行います。

#### 検査室研修・検体検査診断業務

検査室における研修で、検査の実施、見学、判定、報告書作成などを行います。研修が修了している検体検査科目は診断業務を行います。例えば、血液検査の研修が修了していれば骨髄像検査の報告書作成を行います。

#### お問い合わせ先

T E L : 0985-85-7284

F A X : 0985-85-4709

担当: 梅北 邦彦

e-mail : kunihiko\_umekeita@med.miyazaki-u.ac.jp

# 救急科専門研修プログラム

病院前から集中治療まで管理できる  
General Emergency Physician を目指そう！

募集定員  
**7名**

研修期間  
**3年**



## 責任者からのメッセージ

救急科  
教授 落合 秀信



本プログラムは、ドクターへリやドクターカーなどによる病院前救急診療から、ER型救急、救急集中治療、重症多発外傷、そして精神科の関連する救急医療まで幅広く研修することにより、いつでもどこでも地域のニーズやシステムに応じ即戦力となって救急医療を展開できる、“救急科の総合医”を育成することを目的としています。それと同時に、地域から世界へ情報発信できる“academic emergency physician”的育成も目的としています。“いつでもどこでも地域に根差した高度な救急医療の提供”と“世界を視野にいれた情報発信”を合言葉に一緒に研鑽していきませんか？

## プログラムの特徴

本研修プログラムは、重篤な多発外傷、内因性疾患、特殊な中毒疾患、重症熱傷について、初期治療から集中治療まで継続して診療し、重症患者の初期対応や全身管理について学ぶことができます。また、ドクターへリ、ドクターカー等の病院前救急診療や災害医療を学ぶ体制も充実しています。救命救急センター内に救急初療室を忠実に再現したシミュレーション室や病院前救急診療の研修に特化した救急車カットモデルを有しており、教育体制についても十分に整備されています。また特殊な教育的試みとして解剖体を用いた救急手技トレーニングシステムを構築しており、経験する頻度の少ない重要手技について解剖体を用いて修練を積むことも可能です。



## 連携施設名等

|      | 施設名  | 指導医           | 専門分野・特徴  |
|------|--|---------------|--|
| 基幹施設 | 宮崎大学医学部附属病院                                      | 落合 秀信 教授、他17名 | 三次救急医療施設、基幹災害拠点病院、災害拠点病院、ドクターへリ、ドクターカー配備、地域MC協議会中核施設 |
| 連携施設 | 県立宮崎病院、宮崎善仁会病院、都城市郡医師会病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院、小林市立病院 |               |  |
| 関連施設 | 高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院、串間市民病院    |               |  |

## 取得可能な専門医資格および技能

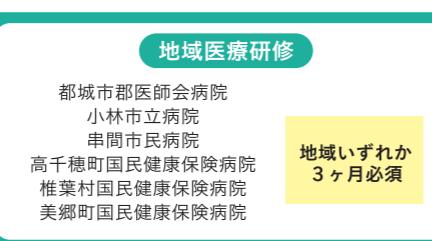
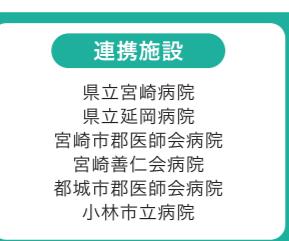
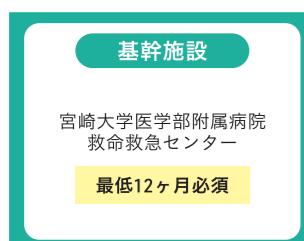
救急科専門医を取得することができます。救急科領域の専門研修における、研修プログラムで示した集中治療領域の専門研修に関しては、サブスペシャリティ領域の集中治療専門医修練としてみなすことができます。他にもサブスペシャリティ領域として、感染症専門医、熱傷

専門医、外傷専門医、脳卒中専門医、消化器内視鏡専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、脳神経外傷専門医、透析専門医への連続的な育成が配慮されます。その他、ICLSやJATEC、JPTECなど救急系教育コースのインストラクターを目指して頂きます。

## 専門医取得までのタイムスケジュール

原則として、3年間の研修期間中、基幹施設での研修期間を最低12ヶ月必須とし、連携施設である県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、小林市立病院のいずれかでの研修を最低3ヶ月必須とします。残りの期間については専攻医の希望を尊重しつつ、地域の救急医療体制を鑑みたスケジュールで研修を行います。

康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険病院のいずれかでの研修を最低3ヶ月必須とします。残りの期間については専攻医の希望を尊重しつつ、地域の救急医療体制を鑑みたスケジュールで研修を行います。



※残りの期間は基幹施設および連携施設で研修を行います

## プログラム達成目標

専門研修後の成果として掲げた能力を十分に備えるために、知識・技能、学問的姿勢と医師としての態度を目標とします。救命処置、診療手順、診断手技、集中治療手技、外科手技については定められた項目の症例、手技などを定数経験することで専門技能を修得します。また、学会・研究会などに積極的に参加、発表し、論文の執筆が義務付けられています。

## 主要症例と実績数

|                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 救急症候に対する診療       | : 21項目、各3症例まで。                |
| 急性疾患に対する診療       | : 8項目、各3症例まで。                 |
| 外因性救急に対する診療      | : 15項目、各3症例まで。                |
| 小児、特殊救急に対する診療    | : 6項目、各3症例まで。                 |
| 重症患者に対する診療       | : 10項目、各3症例まで。                |
| 経験すべき手術(救急手技)・処置 | : およそ35項目定められています。            |
| 例)               | 心拍再開後の集中治療経験必須5例、緊急気管挿管経験必須3例 |

## 週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

| 時 間 | 月                    | 火 | 水                                      | 木 | 金                                  | 土                               | 日                   |   |
|-----|----------------------|---|--|---|------------------------------------|---------------------------------|---------------------|---|
| 午前  | 診療科カンファレンス<br>チーム回診  | ※ | 診療科カンファレンス<br>チーム回診<br>救急外来診療<br>病院前診療 | ※ | 勉強会<br>診療科カンファレンス<br>教授回診<br>チーム回診 | 休暇                              | 診療科カンファレンス<br>チーム回診 | ※ |
| 午後  | 入院患者診療               |   | 入院患者診療                                 |   | 入院患者診療                             | 当直・ドクターカーによる診療<br>(※月5回程度のシフト制) | 入院患者診療              |   |
| 夕方  | シミュレーション教育<br>(月2回程) |   |  |   | 放射線科<br>合同カンファレンス(週1)              | 休暇                              |                     |   |

※ ドクターカーによる診療(※月4～5回の当番)



## 指導医からのメッセージ

教育医長 佐々木 朗

当センターの専攻医教育の特徴として、専攻医1年目を「チームリーダー=主役」としており、指導医の手厚いサポートのもとで診療方針を決定してもらいます。日々の診療で湧き出てくる臨床疑問を専攻医が主体的に調べ、さらにアウトプットできる教育を意識しています。ドクターカーにも専攻医1年目から指導医とともに搭乗してもらい、早期から病院前診療に対する教育を受けることができます。また、大学病院以外の救急連絡施設をローテートし、ER型救急、ドクターカー、地域救急医療の研修も受けてもらいますので、救急医療を行う施設や場所を問わず、即戦力として宮崎県の救急医療に貢献できる救急医を育成する教育体制が揃っています。

## 先輩からのメッセージ

助教 工藤 陽平

本プログラムでは1年目は大学病院の救命救急センターで研修し、2年目以降で地域の複数の基幹病院で研修を行います。大学病院では屋根瓦式の指導体制の下チームリーダーとして最前線で重症患者の初期診療や集中治療を行います。ドクターカーやドクターカーでの病院前診療も経験できます。基幹病院では軽症から重症まで多岐にわたる患者を診療し、地域医療の一端を担いながら研鑽を積むことができます。本プログラムを通して医療者として救急医として必要な知識・技術を身に付けることで成長できます。

## お問い合わせ先

T E L : 0985-85-9547  
F A X : 0985-85-9105  
担当：長野 健彦  
e-mail : takehiko\_nagano@med.miyazaki-u.ac.jp

救急科HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/kyuumei/index.shtml>



内科 小儿科 皮膚科 精神科 外科 形成外科 整形外科 リハビリション科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 脳神経外科 放射線科 麻酔科 病理 子宮検査 救急科 総合診療

# 総合診療専門研修プログラム

地域医療を支える医療人のためのプログラム

募集定員  
**6名**

研修期間  
**3年**



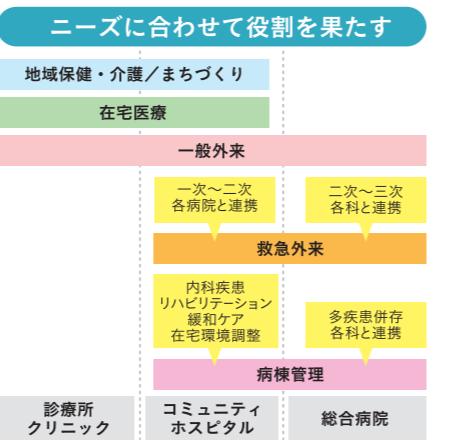
## 責任者からのメッセージ

地域包括ケア・総合診療医学講座  
准教授 桐ヶ谷 大淳  
地域医療・総合診療医学講座  
教 授 吉村 学

地域で暮らす人々にとって役に立つ医師として活躍してみませんか。幅広く深い臨床能力と心優しいマインドを備え、そして様々な人々とコラボ、地域に暮らす人々の生活を支え、ヘルスケアの基盤を担っている重要な存在です。宮崎で、そしてオール宮崎で育てようとしています。新しいからこそ、ワクワクする道が待っています。ぜひ飛び込んできてください。全力で育成します！

## プログラムの特徴

2021年度よりALL MIYAZAKI体制として宮崎県内の熱い総合診療医が揃い、今までバージョンアップした指導体制でプログラム運営しています。2020年4月に寄附講座の設置された都農町／都農町国民健康保険病院が基幹施設となり、大病院での病院総合医(ホスピタリスト)と中小病院での家庭医療(家庭医)という総合診療の2軸をしっかりと学ぶことができます。県内3つのプログラムとも協働し、県央地区での研修も強化し研修先の選択肢の幅が広がりました。Web会議を利用した勉強会、教育コンテンツの増強、海外専攻医(タイPSU他)との交流を行い、総合診療ならではの専門性を身につけていきます。プログラム修了後も多彩なキャリアプランを用意しています。



## 取得可能な専門医資格および技能

- 総合診療専門医
- 新・家庭医療専門医
- 在宅医療専門医

- ① 外来、救急、病棟、在宅という多様な診療の場において、全人的、包括的かつ継続的に医療を展開できる能力
- ② 患者中心の医療面接から、患者を取り巻く家族、地域社会、文化などを理解するコミュニケーション能力
- ③ 地域のニーズに沿って、必要な医療技術を習得できる能力
- ④ 限られた人材、医療資源を用いて、適切な医療をスタッフと協同で行うリーダーシップ能力



## 連携施設名等

ALL MIYAZAKI 総合診療 18ヶ月 + 内科 12ヶ月 + 小児科 3ヶ月 + 救急科 3ヶ月

① 都農町国民健康保険病院(総合診療、小児)

幅広い疾患、在宅医療／緩和ケア、内視鏡  
学生教育／まちづくり・地域保健

② 古賀総合病院(総合診療)

③ 宮崎生協病院(総合診療、小児)

④ 県立宮崎病院(内科、救急、小児)

多疾患併存の病棟管理 / 診断困難症例の外来  
内科専科トレーニング

以下も選択可能

- ⑤ 宮崎大学附属病院(救急)
- ⑥ 都城市郡医師会病院(救急)
- ⑦ 高千穂町国保病院(小児、総合、内科)
- ⑧ 県立日南病院(内科、総合)
- ⑨ 宮崎市立田野病院(総合)
- ⑩ 小林市立病院(総合)
- ⑪ 美郷町国保西郷病院(総合)
- ⑫ 奄美大島国保病院(総合)
- ⑬ おおつか生協クリニック(総合)
- ⑭ 和知川原生協クリニック(総合)
- ⑮ このはな生協クリニック(総合)
- ⑯ いしかわ内科(総合)
- ⑰ 串間市民病院(総合)
- ⑱ 西米良診療所(総合)
- ⑲ ホームクリニックみまた(総合)
- 他 福岡2ヶ所 鹿児島3ヶ所



## 専門医取得までのタイムスケジュール

|     | 4月     | 5月 | 6月 | 7月     | 8月     | 9月 | 10月   | 11月 | 12月 | 1月     | 2月          | 3月 |
|-----|--------|----|----|--------|--------|----|-------|-----|-----|--------|-------------|----|
| 1年目 | 総合診療II |    |    |        |        |    | 内科    |     |     |        |             |    |
|     | 古賀総合病院 |    |    | 県立宮崎病院 |        |    |       |     |     | 宮崎生協病院 |             |    |
| 2年目 | 内科     |    |    |        | 救急     |    | 小児    |     |     |        | 宮崎生協病院      |    |
|     | 県立宮崎病院 |    |    |        | 県立宮崎病院 |    | 総合診療I |     |     |        | 都農町国民健康保険病院 |    |
| 3年目 | 総合診療II |    |    |        | 総合診療I  |    |       |     |     |        | 都農町国民健康保険病院 |    |

## プログラム達成目標

患者の縦断的、横断的なマネジメントおよび、医療、介護、福祉との連携を実践することができ、研修修了時には地域包括ケアを実践する能力が習得できます。

- 日常に多く遭遇する疾病や傷害に対する初期対応能力を習得する
- 地域で対応が求められる各診療科のコモンディジーズには、専門医へのコンサルトの見極めを含め対応できるようになる
- 地域で生活する患者の情報を、多職種で共有して解決するスキルを習得する
- 患者の診断や治療まで積極的に行い、かつ患者の生活背景を考えた退院後のマネジメントができるようになる
- より複雑な症例や患者の問題点を多職種連携で共有し、解決できるようになる

## 主要症例と実績数

都農町国民健康保険病院総合診療科

入院症例数5-10名程度、外来は半日10-20名前後(新患含む)、在宅患者数名を担当しながら、入院・外来・救急・在宅と多様な診療の場での診療を行います。

コモンディジーズ、多疾患合併症例、下降期慢性疾患の対応、複雑困難事例、緩和ケア・終末期など多彩な症例を経験、総合診療科のコアスキルを研鑽しながら修得します。他にも小児・思春期から高齢者まで、リハビリテーションやメンタルヘルス、予防医学など多岐にわたる分野を、他の領域別専門医や多職種などと連携しながら経験できます。

## 指導医からのメッセージ

松田 俊太郎



“患者をまるごと診る”、次に“病院をまるごと診る”、さらに“地域をまるごと診る”こと、ができるような医師像を目指しています。これは、地域に根付いた総合診療を実践しなければ決して体験することのできない、地域医療を基盤とした総合診療の醍醐味であると思います。総合診療専攻医の役割は多岐にわたり、一般的な内科疾患、臓器別の専門性だけでは片づけることのできない疾患、小児の対応、あらゆる救急疾患の初期対応、悪性疾患だけでなく非悪性疾患患者の終末期の対応、在宅医療の実践、予防活動などです。医学部入学を志したときの医師像に近い“お医者さん”になることができると思います。

ぜひ一緒に“最強の総合診療医”を目指しませんか？ お待ちしています！

早川 学



私は“最強の総合診療医”になることを目指しています！ 私の中で“最強”とは、診療所・在宅医療～総合病院までどんな規模の医療機関でも働く能力を有し、医学生～初期研修医・専攻医のどんな学年にも適切な指導が可能で、学会発表や論文執筆もきちんと行い、その指導もできる医師をイメージしています。もちろん私自身もまだまだ“最強”への道のりは遠いのですが、我々はそのような医師になることが可能となる、素晴らしいプログラムを用意しています。

楠元 恒子



専攻医の先生方には専攻医プログラムに沿って、さまざまな病院で研修を進めていただきますが、そのどれも勉強になりやりがいがあることだと思います。主治医として患者さんを受け持ち、総合診療科ならではの様々な問題に丁寧に対応していくことで、病気を診る、人を診る、地域を診る、と言った地域医療にとって大切な目を養うことができます。指導医は皆、丁寧で、専攻医の先生方に寄り添い指導し、時に一緒に迷い、一緒に成長していくのを楽しんでいる熱い心の方ばかりです！ 皆様の参加をお待ちしています！

## 先輩からのメッセージ

稲田 一旭



『患者さんの力になりたい』医師を志す者であれば共通する想いを、臓器によらず、年齢によらず、働く場所によらず、発揮したいと思う方に適切な専攻医研修だと思います。プライマリ・ケア、病む人が最初に医療の門戸をたたく最前線で、common diseaseや救急医療において適切な医療を提供する事、場合によっては専門科への適切な道筋をたてる事、また、治療のみならず予防医療を行う事、医療以外の介護や福祉、社会的な問題が絡んだコンプレックスケースにも多職種と連携して解決策を探る事。将来どの様な道を志そうとも医師として基礎・コアとなるスキルを習得することができる充実した3年間でした。

枝元 真人



専攻医1年目は串間市民病院で救急外来・一般外来・急性期病棟管理・在宅医療と幅広く携わることができました。救急外来で出会った患者さんは病棟で入院管理し、自分の外来で付き合っていったり、在宅で看取ったりと、一人一人の患者さんにとことん付き合っていく楽しさがあります。また、院内の勉強会を開いたり、地域の座談会に足を向けたりと、「患者者・病院・地域をより良くするために、やろうと思ったことは何でも自分の仕事にできる」土壌があり、それを支えてくれる指導医がいる恵まれた環境です。1つの診療科にこだわらず、患者さんや地域を丸ごと支えてみたいという方にお勧めできるプログラムになっています。

ぜひこの分野のパイオニアに！ 熱いです。熱い地域医療を一緒に燃えてやろう。

## お問い合わせ先

T E L : 0985-85-9809  
F A X : 0985-85-9805  
担当：吉村 学  
e-mail : chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp

総合診療科HP  
<https://chiikiiryo-miyazaki.jp/>



内科  
小児科  
皮膚科  
精神科  
外科  
形成外科  
整形外科  
テリハ・ジョリヨン科  
産婦人科  
眼科  
耳鼻咽喉科  
泌尿器科  
脳神経外科  
放射線科  
麻酔科  
病理  
臨床検査  
救急科

## ○ 宮崎大学専門研修プログラム専攻医(医員)の待遇について

|                 |  |   |   |       |   |
|-----------------|--|---|---|-------|---|
| 専門研修プログラム専攻医の身分 | 非常勤医師(医員)  |   |   |       |   |
| 専門研修プログラム専攻医の給与 | 宮崎大学医学部附属病院の就業規則に準じて給与が支払われます。<br>詳細は、お問い合わせください。                    |   |   |       |   |
| 賞与              | 無  | 時間外手当                                     | 有 | 宿日直手当 | 有 |
| 勤務時間            | 月曜～金曜 8時30分～17時15分 (週38.75時間勤務)                                      |   |   |       |   |
| 有給休暇            | 1年次 10日 (2年次以降は非常勤就業規則に準じて増えます。)                                     |   |   |       |   |
| 休暇              | 特別休暇の有無  | 有 (夏季休業、リフレッシュ休暇等)                        |   |       |   |
|                 | その他の休暇   | 無給休暇 (産前産後休暇、病気休暇等)                       |   |       |   |
| 宿舎              | 専門研修プログラム専攻医(医員)は、宮崎大学が所有している宿舎に入居することができる。<br>(状況により入居できない場合があります。) |   |   |       |   |
| 公的医療保険          | 健康保険   |   |   |       |   |
| 公的年金保険          | 厚生年金保険   |   |   |       |   |
| 労働者災害補償保険の有無    | 有  | 雇用保険の有無                                   | 有 |       |   |
| 健康管理            | 健康診断   | 年1回実施                                     |   |       |   |
|                 | その他  | 特殊健康診断・特別定期健康診断(該当職種者の場合)、臨時健康診断(必要がある場合) |   |       |   |
| 医師賠償責任保険の取り扱い   | 医師賠償責任保険の加入は、任意の個人加入とする。   |   |   |       |   |
| 兼業              | 可(専門研修連携施設に在籍期間中は、各病院の待遇によります。)                                      |   |   |       |   |
| 保育園             | 院内保育園あり (くすの木保育園)  |   |   |       |   |

## ○ 宮崎大学医学部附属病院施設紹介

### くすの木保育園

病院前宿舎敷地内に宮崎大学に勤務する職員の乳幼児を預かる「くすの木保育園」があります。週2日の24時間保育、延長保育、一時預かり、病後児保育も行っています。

| 保育時間 |                   |
|------|-------------------|
| 基本保育 | 月一土 7:00 - 19:00  |
| 延長保育 | 月一土 19:00 - 22:00 |
| 終夜保育 | 火・木 22:00-翌7:00   |



子育て応援します! 勤務に合わせてご利用ください。

### 就学児一時預かり室

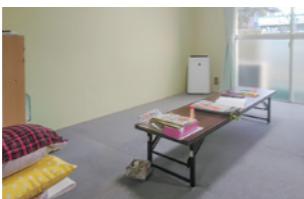
木原職員宿舎F102に、清武キャンパス職員が保護者である小学生を対象とした「就学児一時預かり室」があります。

#### ● 開設曜日と時間

月～金(祝日は除く) 17:00～19:30

#### ● 対象

清武キャンパス職員が保護者である小学生  
(本預かり室に慣れるため小学校入学前の利用可。)



### 宮崎大学附属図書館医学分館(清武キャンパス)

1階は、オープン学修スペース・ラーニングコモンズ。2階は静かに集中して学習できるキャレル、e-ラーニングルームなどを完備。医学系の専門書などのべ12万3,000冊以上の蔵書を揃え、多様化する“学びの形”を支えるため広く活用されています。

| 通常期 | 月 - 金        | 土・日           | 祝・休日 |
|-----|--------------|---------------|------|
|     | 9:00 - 20:00 | 13:00 - 17:00 | 休館   |



## ○ 仕事も趣味も充実! 理想のワークライフバランスを実現!

宮崎県では、サーフィン、ゴルフ、スノーボードなどアクティブなスポーツを楽しむことができます。仕事を忘れるくらい没頭できる趣味も宮崎ではじめてみませんか。

### スキー・スノーボード

日本最南端の天然スキー場です。スノーボードも全面滑走可能で雪質も良く、毎年たくさんのスキーヤー・スノーボーダーで賑わっています。



### ゴルフ

南国ならではの一年中温暖な気候のため、冬場でも緑の芝が美しく映えるなど、一年を通して最高の環境でゴルフが楽しめます。



### サーフィン

県北の日豊海岸から南国らしい明るい海が開ける日南海岸まで、約400kmにわたって海岸線が続いています。宮崎の海は全国屈指のサーフポイントが点在し、初心者から上級者まで誰もがサーフィンを楽しむことができます。



## ○ アクセス

### バス

宮崎駅前バスセンター

- 木花台方面宮崎大学・大学病院 約45分
- まなび野方面宮崎大学・大学病院 約35分
- 清武方面宮崎大学・大学病院 約30分

宮交シティ

- 清武方面宮崎大学・大学病院 約30分

### JR

宮崎駅

- 南宮崎駅 約3分
- 清武駅 約6分
- 木花駅 約12分

### 車・タクシー

- 南宮崎駅から 約25分
- 木花駅から 約15分
- 宮崎空港から 約20分
- 清武駅から 約10分

